



# ADRC Highlights

Vol.49

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

June 17, 2002

## ➤ 調査報告「米国世界貿易センタービル被害の把握過程と復興計画の策定」

アジア防災センターは、文部科学省 科学技術振興調整費による「米国世界貿易センタービルの被害拡大過程、被災者対応等に関する緊急調査研究」の一部を受託し、2月24日～3月4日の現地調査に参加し、5月に報告書作成を行った。

### ＜研究目的＞

本調査は、WTCテロ災害後に、ニューヨークで、多くのコンサルタントや調査会社がアンケートやインタビューにより被害の波及に関して実施されているため、その調査によって判明したテロ災害による経済的損失、そしてテロ災害の影響に関して明らかにすることを目的としている。

そして、被害把握を基にして作成された復興に関する提案、計画に関してインタビュー及び文献調査によって明らかにすることを目的としている。

### ＜調査結果＞

#### 主要被害及び影響の調査結果

##### (1) 損失額

ニューヨーク市の経済的被害総金額は計\$830 億になるとみられる。その中から、保険や人命救助にかかった費用への連邦政府からの補填、瓦礫撤去や清掃そしてインフラ復旧費用を差し引くと、最低でも\$160 億もの損失が発生している。

##### (2) 失業者数

2001 年度第 4 四半期に、直接テロの影響を受けた失業者は 125,000 人と推定される。

##### (3) 最も被害を受けた産業

金融サービス、旅行、小売店などが大きな被害を受けている。

##### (4) 最も被害を受けた区域

マンハッタン南端区域に被害は集中している。この区域ではテロ災害により 10 万の失業者が既に発生している。そしてオフィススペースのほぼ 30%を失った。

#### 実施されている復興計画

##### (1) マンハッタン南端区域 再開発計画策定

瓦礫撤去終了の 2002 年中頃までに再開発計画を策定する。

##### (2) インフラ再建

ダウンタウンのインフラ（配電網、輸送、通信）再建は、21 世紀スタンダードで構築する。

##### (3) 世界の金融センターとしての地位維持

金融センターとしての地位確保のため州政府からのからの経済的な援助を得る。

##### (4) 包括的な投資による信頼の回復

新たな安全保安基準による都市構築のための投資を実施する。

##### (5) マンハッタン南端区域住民への対応

労働者、中小企業、住民のためのコミュニティ機能の早期回復を実施する。

##### (6) 観光・ビジネス誘致への早期の取組みをおこなう

さらに詳しい調査報告については、下記ページをご覧ください。[http://www.adrc.or.jp/wtc/WTC\\_ip.htm](http://www.adrc.or.jp/wtc/WTC_ip.htm)

(主任研究員 矢代 晴実)

## ➤ 「持続可能な開発世界サミット」準備会合開催

インドネシアバリ島において、5月27日～6月8日まで、「持続可能な開発世界サミット」最終準備会合が開催されました。世界 173 カ国から 118 人の大臣、1,794 人の政府代表団など 4,300 人を超える出席の中、8 月末に南アフリカヨハネスブルグで開催されるサミット本番に向けて活発な議論がなされました。

防災の分野では、国連国際防災戦略事務局（ISDR）が、5月28日に「災害リスクと持続可能な開発」というテーマでサイドイベントを開催し、アジア防災センターも「アジア地域における災害のインパクトと地域協力のあり方」についてプレゼンテーションを行いました。

アジア防災センターは引き続き、持続可能な開発にとって「Disaster Management」が重要な鍵であることを ISDR 事務局、メンバー国とともに WSSD に働きかけていくこととしています。

会議の公式報告は [WSSD ホームページ](#) に今月末頃に掲載予定です。

(主任研究員 吉村 文章)

## ➤ ESCAP 宇宙技術アプリケーション防災利用のための協力メカニズムに関する地域会議

6月5、6日に北京で ESCAP (UN Economic and Social Commission for Asia and the Pacific) 主催の上記地域会議がありました。21 の国と地域、7 つの国際機関、約 90 名の衛星と防災関係者が集まり、初日は最新の宇宙技術の防災面への活用事例や現状の課題等の報告がなされました。

この中で ADRC は、[NASDA と共同で実験をおこなっている「衛星を活用した災害管理」](#)の現状と今後の予定について発表するとともに、ISDR タスクフォースの一員として ISDR 事務局からのメッセージを報告しました。NASDA が打ち上げを予定している地球観測衛星(ALOS)や超高速インターネット衛星(WINDS)の利用についてや、これらを使った災害管理について参加者から多くの関心が寄せられました。

2 日目はパネルディスカッションとグループディスカッションが行われ、宇宙技術を利用する際の環境整備として、ブロードバンドサービスと映像やデータのフリーサービスの必要性が大きく指摘されました。ADRC は NASDA との共同実験を進めていく中で、上記指摘を踏まえ、メンバー国へのより効果的なサービス提供について検討を進めていきます。

(主任研究員 荒木田 勝)

## ➤ アジアにおける最新災害情報

6 月上旬、中国北西部で豪雨によって洪水が発生し、多くの被害が発生しています。さらに詳しい情報は、[ADRC ホームページ最新災害情報](#)をご覧ください。

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 IHD ビル 3F

E-mail: [editor@adrc.or.jp](mailto:editor@adrc.or.jp) TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料： 無料 / 毎月 2 回発行（予定）